

# 徳島文理大学通信



徳島文理大学 アドミッションズ・オフィス 徳島市山城町 770-8514 0120-602-455

高度な知識と技術を備えた看護師・保健師・助産師の養成 (看護学部)

本学は、時代が求めるものを先取りし、社会の要請にこたえることのできる人材の育成を目的に、大学組織の再編や改革の手を緩めることなく発展を遂げ、西日本有数の総合大学となった。平成20年4月から新たに徳島キャンパスでは保健福祉学部看護学部、短期大学部生活科学部専攻パティシエコースを開設し、香川キャンパス工学部・文学部の学科再編による新学科がいよいよスタートする。

## 期待と希望を胸に 新時代をリードする新設学科がいよいよスタート



平成20年4月から保健福祉学部看護学部が加わる。看護学部は、四国内の私立大学では唯一の学科で、すさまじい速さで高度化や多様化が進む医療現場において、幅広い知識と高度な技術を兼ね備えるとともに地域医療に貢献できる看護専門職の養成を行う。本学科を修了すれば、看護師・保健師の国家試験受験資格と履修科目により助産師の受験資格の3つが同時に取得できることが魅力。多くの大学が保健師または助産師資格を取得するためには、大学卒業後に専攻科に進まなければ取得できないが、本学では3つの資格が4年間で取得できる。

豊かな感性と製菓の技術・知識を身につけたパティシエを養成 (短期大学部生活科学部生活科学専攻) 平成20年4月、短期大学部生活科学部生活科学専攻にパティシエコースを新設した。街角に次々にオープンするスイーツ店やテレビ・雑誌などで話題となる取り寄せスイーツなど、菓子の魅力に関心が集まるなか、菓子作りの職人として、今、「パティシエ」が注目

複雑多様化する社会ニーズに対応した人材を養成 (工学部・文学部) 香川キャンパスの工学部と文学部は、4月より従来の学部編成を見直し、教育研究分野を統合・刷新し新たな学域を構築した。工学部は、複雑多様化する社会に対応し、地域社会に貢献できる人材を育成するため、従来の5学科を臨

「各界トップと考える 地域再浮上の針路」開催 昨年度、学内外より好評を博した「徳島文理大学公開講座」を本年も開催する。今年度は「各界トップと考える地域再浮上の針路」と題し、産学のリーダーから専門分野における最近の世界的な動向を紹介していただき、日本・地域の果たすべき役割について言及していただく。学外の方にも無料で開放する予定。香川キャンパスにも会場を設けるので、より多くの方にご来場いただき地域活性化のヒントとしていただきたい。

「開講日と講師」 第1回 5月9日(金) 香川キャンパス 都村長生様・コーポレイション・メタモルフオシス・アソシエーツ(株)代表取締役。香川県出身。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。東亜燃料(株)にシステムエンジニアとして入社。ベロンビルバニア大学学オートラッセル・レイノルズ勤務を経て、香川にて若手コンサルタント育成のCMA(株)のキーワードは、「創造力あふれるものづくり」「情報通信」「環境・バイオテクノロジー」「ナノテクノロジー」「材料」「ライフサイエンス」の5つ。これら観点を軸にそれぞれの学科で科学技術に柔軟に対応できる能力を身につけ、豊かな社会を創造できる人材を育成する。

美しく彩る「つまもの」 栽培し青果市場に出荷・販売する事業を1987年から開始。1999年に同事業が農協から独立し、上勝町の第三セクター「株式会社社」の第三セクターとなった。 第5回 6月20日(金) 徳島キャンパス 石倉洋子様・二橋大学大学院国際企業戦略研究科教授。上智大学外国語学部英語学科卒業。フリーランスの通訳を経て、1980年に「BA」を取得。85年日本人女性で初めて、ハーバード大学大学院にてDBA(経営学博士)を取得。 第6回 6月26日(木) 徳島キャンパス 金子 満様・東京工科大学メディア学部教授。アニメーション・プロデューサー、ディレクター、シナリオライター。慶応義塾大学法学部卒業。フジテレビ社員時代に、南カリフォルニア大学シネマスクールへ留学。「日本のコンピュータグラフィックスの父」と称される。著書「映像コンテンツの作り方」コンテンツ工学の基礎。

打ちされた「レポート」を読み採点する。 手書き答案の場合、漢字の間違ひは減点となる。とくに「術語(専門的な重要語句)」の書き間違ひは大減点だ。意思と意志、科料と過料、などという同音異義語の用法間違ひ、罪と罰、訪問を訪問、専門を専門、などという書き間違ひが少なくない。 ワープロ打ちされたレポートでは、一時期話題となった誤変換(確立を確率、内蔵ディスクを内臓ディスクなど)は減ったが、「群れを為す」のようにわざわざ漢字を当てないでもよい場合に無理して漢字を当てようとするのが目立つようになった。 この原稿は、パソコンにインストールされた「Word」というソフトウェアを使って書いている。パソコンの画面上では「訪問」と「専門」にそれぞれ緑色の波線がつけられている。機械が人間の誤りを指摘しているのだ。「Word」を使えば、英作文もスペルの間違ひを赤色の波線で指摘してくれる。この指示に従って文章を書けば、誤字やスペルミスで恥をかかないで済む。便利な時代になったものだ。 「徳島の人」は5分以上歩かない」と言われる。代わりにも便利な自動車という機械に乗って移動する。それと因果関係は明確ではないが、県民の糖尿病死亡率は全国一だ。 とも便利なパソコンという機械は、美しい正確な文字を短時間で生じさせる。その機械を使わずに仕事をすることは考えられない時代が来てしまった。機械は仕事の効率を飛躍的に上げた。しかし、ヒトの「脳の効率」は下げてしまった。明日から毎日鉛筆を持つと決意した。脳が「糖尿病」で死亡しないために。



札幌駅から車で20分ほど走った小高い丘の上にウィリアム・スミス・クラーク(William Smith Clark)博士の像があります。クラーク博士は、北海道大学の前身札幌農学校の1期生との別れの際に「Boys, be ambitious. (青年よ、大志をいだけ)」とこの言葉を贈りました。

質的な富の拡大を目標として、国民全体が懸命に努力し、大きな成功を取めました。第1次産業から第2・3

「Boys, be ambitious.」 学長 桐野 豊

現在のような変化の激しい社会を強く生き抜いていくためには、公共性に目を向け、さらに社会とどう向き合っていくか、重要なことになってきた。その意味で言えば、資格や免許状の取得とは、社

その計画に従って、研究を進めるわけですが、全てが計画通りに進むわけではありません。途中で失敗した

うなことが起こります。大学生活で出逢う人の数は、高校までのそれに比べ爆発的に増えます。その中には、自分と考え方が違う人や到底かなわないと思う人が必ずおり、それは友人であったり教授であったり

第2回 5月16日(金) 徳島キャンパス 知識賢治様・株式会社カネボウ化粧品代表取締役社長。同志社大学法学部卒業。産業界再生機構とともに再生する過程で活躍。若くして化粧品部門の責任者となった。 第3回 5月23日(金) 徳島キャンパス 村口和孝様・株式会社日本テクノロジーズベンチャーパートナーズ 代表取締役。徳島県出身。富岡西高卒。慶應義塾大学経済学部卒業。野村證券を経てベンチャーキャピタリスト。ハンズオン型独立系ベンチャーキャピタルのパイオニア。とくしま市場創造1号投資事業組合業務執行組合員。 第4回 6月6日(金) 徳島キャンパス 横石知二様・株式会社社いりどり代表取締役副社長。徳島県農業大学校卒業。徳島県勝浦郡上勝町の農協(現JA東とくしま)に営農指導員として就職。高年齢の組合員を中心に、日本料理を

めまぐるしく動いている世界のなかにあり、「人とは何か」を理解した社会貢献のできる人材の養成をしなければならぬ。文化遺産を学び自然環境への深い愛情を育てる文化財学科、日本人の精神文化を掘り下げて未来を創造する日本文学科、英語の実戦能力を養いより高度な英語運用能力の獲得をめざす英語英米文化学科が4月よりスタートする。

大学の成績評価は、試験またはレポートにより行われる。教員は、大量の「手書き答案」と、「ワープロ

学生の皆さんは、高い志と具体的な目標を持って学生生活を送られていると思

いたすが、皆さんを取り巻く社会は厳しさを増しております。特に皆さんのご両親の世代からは比べようのない速さで社会が多様に変化していることは間違いない事実であります。第2次世界大戦後の日本は、物質的な富の拡大を目標として、国民全体が懸命に努力し、大きな成功を取めました。第1次産業から第2・3

くために、本学では教養教育はもちろん、専門的職業教育に力点を置いていきます。専門的職業教育とは、ある特定の職業に就くために必要な知識・技能を修得し、資格や免許状の取得を助けるものであります。で

り、新たな発見があったりする中で、微調整しながら研究を推し進めます。そうした中で、まれに当初予想もできなかったような成果が得られることもありま

「Boys and girls, be ambitious」

プロフェッショナルの提言 日本よ、再浮上せよ! 6人の各界トップが語る日本の針路



オーストラリアのグリフィス大学と姉妹校協定締結！  
南半球に待望の姉妹校が誕生

アジア、北米、ヨーロッパに12の姉妹校を持つ本学にとって13番目となる姉妹校が南半球に誕生した。本年1月に姉妹校の協定を取り交わしたのはオーストラリアのグリフィス大学で、プリズベンやゴールドコーストなどに5つのキャンパスを持ち、3万人余りの学生が通うオーストラリア有数の国立総合大学だ。

具体的な交流のプログラムはまだこれからだが、本学の冬休みや春休みを利用してのオーストラリア英語研修の実施、および1年間の交換留学生の派遣や受け入れなど、英語力アップと国際理解の促進に向けて充実した交流が生まれるものと期待している。

### 退職にあたって

#### 前学長 勝沼信彦

健康科学研究所 所長

まず最初に徳島大学医学部退職後15年にわたり私の生きがいである研究と教育に従事させていただいた徳島文理大学ならびに村崎正人理事長に厚く御礼申し上げます。思い返せば昭和36年、徳島大学学長の児玉桂三先生が「地方大学は思い切った特殊性を持たねば発展できない」、徳島大学は「生化学を中心とした医学部に発展させる」という方針を確立されました。それには米國ウィスコンシン大学のように、有名なハーバー教授のいた「栄養学研究所」およびグリーン教授のいた「酵素研究所」の如きもの

### 平成19年度 表彰に輝く

第14回源内賞 貢献賞 古本奈奈代 教授 清澄 良策 准教授 篠原 靖典 准教授	第41回中華民国比較病理学会賞 井上 正久 助教	第48回天然有機化合物討論会口頭発表奨励賞 山本 博文 助教	平成19年度日本薬学会中国四国支部奨励賞 加来 裕人 助教
瑞宝小綬章 教育功勞 安藝 武 教授 友近 温壽 准教授 山下 進 准教授	徳島家庭裁判所から、多年調停委員として精勵せられ、調停制度のため貢献された功績により表彰 大蔵 雅夫 教授	徳島家庭裁判所から、多年調停委員として精勵せられ、調停制度のため貢献された功績により表彰 山本 正子 教授	徳島家庭裁判所から、多年調停委員として精勵せられ、調停制度のため貢献された功績により表彰 大島 隆幸 講師

### 補助金事業 科学研究費補助金 全国私立大学582校中 堂々の45位

本学は高い研究力および教育力を背景に、公的補助金や各種助成金を広範囲な分野で受けている。これは中四国でトップランクであり、大変名誉なことであるといえる。以下に本学が受けている代表的な公的補助金について概要を紹介する。今後とも西日本最大級の総合大学として教育・研究に全力邁進していくことが期待される。

1. 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費補助金(科研費)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたる、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て独自の・先駆的な研究に対する助成を行うものである。

### 日本薬学会 中四国支部役員会を香川薬学部で開催

日本薬学会中国四国支部役員会(25人出席)が1月26日(土)に香川薬学部にて行われた。初めに、現執行部(岡山大学・薬学部)から新執行部(徳島大学・薬学部)への引き継ぎ協議が行われ、引き続き、平成19年度第3回役員会が開催された。役員会では平成19年度の事業報告の後、20年度の事業計画が報告され承認された。来年度の支部活動は、基本的には例年通りに実施されることになり、[外国人特別講演会補助金]と「特別講演会補助金」を改め、対象が日本人講師にも広げられた。また、平成20年度の中国四国支部学術大会は、岡山市で実施される。役員会に引き続き、公開の講演会として、2人の講師により、以下の内容の講演が予定されている。

### オミクスを駆使した金属毒性学発展を

薬学部 姫野誠一郎

科学研究費補助金(通称・科研費)の基盤研究(B)として「OMICS」の手法を活用した金属毒性学と輸送機構の解析(代表・姫野誠一郎)を開始している。日本学術振興会から、平成19年度から21年度までの3年間研究費補助を受ける。OMICSとは、ゲノミクス、プロテオミクスなど、単語の末尾に-omicsがつく

という立体的近代医学体系ができました。その上、医学部・歯学部・薬学部と酵素研究所の間の交流・協力は目覚ましく、有機的連携を持って機能してきました。今や徳島大学医学部はCEO拠点として旧七帝国大学医学部以上と高く評価されています。私はこの31年間に約20人の国立大学教授を輩出しました。その間に行政的には医学部長として耳鼻科問題の解決にも貢献しました。

徳島大学定年の年に村崎正人理事長から「私はドイツに留学していたのでマックスプランク研究所の如きものを文理大学の100周年を記念して設立したい」との偉大な構想をお聞きして感激し、勇気を奮って健康科学研究所設立に頑張りました。今では6部門が設立でき、高度教育と研究指導に努力しています。特記すべきことは、この間に研究所を中心とし勝沼・津下・柚の夫々が拠点代表者となり、文科省私学助成大型研究費を3件(継続を含め4件・3億以上)をいただきました。これらは地方私立大学としては非常にまれなことでありました。また、独自の英文「研究所紀要」の第一報を出版し、現在第二報を編集集中であります。したがって大学附属研究所の条件を全て満たしてあります。私はこの15年間に本学で約50報の英文論文を出版し、多くの国際学会で招待講演を依頼されてきました。教育では5人のドクタ

では本プログラムへ申請を行い、「事業名・コンバクトシティ教育拠点構想における実践英語能力ステップアッププログラム」が19年度の委託事業として採択された。短期大学では全国で僅か10件しか選定されており、今回の採択によりその教育内容の優秀性が高く評価されている。

3. 文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業 標記の推進事業は我が国高等教育機関の大部分を占める私立大学等における研究基盤の整備および研究機能の高度化を図るため、重点的かつ総合的な支援を行うものであり、研究費等に ついては、私立大学等経常費補助金(特別補助)において措置されている。
4. 私立大学等経常費補助金特別補助(採択制補助項目)において、申請した全課題が採択された。

本学では日本私立学校振興・共済事業団所管「平成19年度私立大学等経常費補助金特別補助(採択制補助項目)」において、申請した全課題が採択された。

このように本学では教育・研究に係る補助金対象事業を積極的に推進し、研究力および教育力の向上に成果を築き上げている。

技術の総称である。遺伝子、タンパク質だけでなく、最近では代謝物を一斉分析するメタボロミクス、糖や脂質を一斉分析するグライコミクス、リポドミクス、あらゆる生体金属を一斉分析するメタロミクスなど、OMICSの範囲も拡大している。OMICSは、生体成分を一つ一つ分析するのではなく、高度な化学的計測手法を導入することによって、さまざまな生体成分を全部一斉に測ってしまおう、という考えに基づいており、ヒトのゲノムがすべて解読されてしまったポストゲノムの時代の新しい研究手法である。

本研究では、カドミウムやヒ素などの有害金属の生体影響の解析、また、金属の体内動態、細胞内への輸送機構を明らかにするために、トランスクリプトーム解析、エピジェノミクス、メタロミクス、メタボロミ

以上のように、OMICSという研究手法は、化学と生物学を融合させることを得意とする薬学部に適した手法であり、この研究を通して、金属毒性学の領域での先導的な研究成果を本学から世界に発信していきたいと考えている。

ものづくりデザイン講座  
「わたしの椅子づくり」



短期大学のプロジェクト「地域活性化のための『デザイン』スキル向上によるキャリア・リスタートプログラム」が、平成19年度日本私立学校振興・共済事業団の新規学習ニーズ対応プログラム支援に選定された。

講座は1月12日(土)から3月30日(日)までの全15回。椅子デザインのノウハウを学び書きによる原寸図面と1/5模型を作成することが目的。本学学生5人のほか、木工業、金属加工、建築設計関係が13人を含めた24人が受講し、19時から74



才まで幅広い年齢の方々が絶対に商品を作るぞと競い合い、非常に熱気が満ちており、徳島の木工業に明るい未来を感じた講座となった。

家具製造業は、徳島の地場産業である木工業4業種(仏壇製造業、銘木製造業、家具製造業、建具製造業)の中でも、就業人数、業者数において5年前と比較して半減している。この現状を打破するためには、早急に塗装・ネズリ・木地加工などの技術やデザインの開発による他産地との差別化を図り、人材の発掘や育成を行う必要がある。本講座では、家具製造業の中でも「和」の生活から「洋」の生活に変わりつつある日本において、生活の道具としてますます欠かせない生活家具となつていく椅子を取り上げた。椅子は、機能ばかりでなくステイタスとして、またアートとしての側面も持ちあわせ、椅子をデザインするということは、機能と同時にその生きた時

ポッドキャストを利用した  
英文法  
学び直しコンテンツの  
配信開始

国際化社会を生き抜くためには英語力が必要だ、とよく言われるが、一体どんな能力なのだろうか？ 素人的な発想ですぐに答えられなくても、英会話能力が単純に英単語をたくさん憶えられろといった暗記能力をそのまま示しているのではないことはすぐ理解できると思う。

このような点で、英語の学習は単に歴史の年代を暗記するといったこととは異質のものが要求される。一言で言えば「臨機応変」な対処が必要で、英会話においては即座に適切な受け答えをしなくてはならないし、英文解

積では前後の文脈から判断して、あまりその部分にそぐわない表現は避けてはならない。このように考えると、英語には「ひたすら机に向かって書いて」勉強するといった従来のイメージから、さらに踏み込んで現実のコミュニケーションに近い練習方法もプラスすべきではないか、と思われる。なるほど、英語のリズム・発音の習得といった能力は、自転車のこぎ方などと同じで、繰り返しの練習が必要で、1回憶えたら長期のプランクを経てもすぐまた思い出せ、さらにどうやって上達したかについての細かいプロセスは忘れてしまふ特殊なものであることを考えても、無言で机にかじりついて勉強するイメージから抜け出す必要がありそう。

このようなことから、本学短期大学部では「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の一環として、英文法を初歩からやり直したい学習者にビデオコンテンツを続々配信する予定である。

代の文化をもデザインすることであるといえる。講師として迎えた井上昇氏は、椅子の開発・販売で400万台をこえる実績と、10年の椅子づくり指導の経験をもつ。人間工学理論に基づいた座り心地のよい椅子であること、部品点数が少なく加工・組み立ての容易な椅子であること、そして何よりも魅力あるデザインの椅子づくりについて指導していただいた。

平成19年度  
平賀源内先生  
子ども科学教室と  
修了式

平賀源内先生は、香川キヤンパスの所在地であるさぬき市志度町が生んだ我が

国を代表する科学者である。その先生の偉業を永く後世に伝えるために、工学部では、(財)平賀源内先生顕彰会、さぬき市教育委員と協同で、地域の子どものために「平賀源内先生子ども科学教室」を開催している。平成19年度は、工学部にて、昨年5月より本年2月まで、毎月1回実施した。子ども科学教室には、さぬき市内の小学校3、6年生までの計36人の応募があり、毎月保護者の方も含めおおよそ40人が参加する大変盛況な教室であった。子ども科学教室では、ものづくり、科学的体験などを実施した。教材・テーマの選定と調達、教材の試作、当日の資料づくりは、全て工学部の教職員有志があつた。テーマの選定から開催までの準備は、平均で3か月を要し、苦労の連続であつたが、参加の子どもたちはいずれも楽しんで参加したことができて、関係者一同大変喜ばしく思っている。

さらに、最終の2月9日

「出」には、食堂にて修了式と昼食会を実施し、子どもたちとその保護者、教室の運営に当たった教職員有志ら約80人が参加した。中島賢一郎工学部長の挨拶後、(財)平賀源内先生顕彰会砂山三郎氏からの修了記念メダルなどの贈呈を行った。その後、昼食を兼ねた懇談を行い、大変盛況の内に終了した。

なお、実施風景などは工学部のホームページで公開している。ご覧いただきたい。

http://eng.bunri-u.ac.jp/



約1年半の歳月を費やして、調査研究・学習会・企画会議・展示資料借用交渉・広報(ポスター・チラシ作成・配布)・イベント企画・展示計画・演具製作・パンフレット製作・キャプション(解説文)製作・パネル製作・開会式準備など、展示会開催に関わるさまざまな仕事を学生たちが分担して計画的に進めた。ちなみに、これらは日常の授業の一環として行っているものではなく、50回以上におよぶ調査・学習会・会議・諸準備は放課後や休日にかけて行われた。本展は、人々の日常生活を支えてきたさまざまな「道具」「民具」または「民

近い将来に発生が予想される南海・東南海地震に備えて県民の防災意識を高めようと、人間生活学部メディアデザイン学科では、遊びながら防災知識を学べるコンピュータゲーム教材を開発した。

徳島新聞社と  
コンピュータゲーム開発  
防災意識の啓発

これは、「わかりやすく、楽しく防災をまなぼう」をテーマに行っている徳島新聞の防災意識啓発企画「まなぼうさい」と連携した取り組みで、本学科3年生9人がストーリーの立案からFlash形式によるプログラムの作成まですべて行った。このプロジェクトは、昨年9月からスタートし、本年1月中旬よりホームページでの公開を行っている。

ゲームは、地震直後の「自宅編」「学校編」「海岸編」「デパート編」の4部で構成されており、それぞれクイズ形式となつている。実際の防災訓練では体験できない「失敗」を仮想的に体験でき、その詳しい解説から、いざというときに役に立つ防災知識を学べるようになっていく。

また、1月15日(火)には、四国民家博物館(香川県高松市)所蔵の「讃岐および周辺地域の砂糖製造用具」9点、瀬戸内海歴史民俗資料館(香川県高松市)所蔵の「瀬戸内海および周辺地域の漁撈用具」4点(双方とも国の重要有形民俗文化財)を含む35点の貴重なもので、両館の職員の方には多大なるご指導・御配慮を賜った。

さらに、地域社会と連携を図ることも本展開催の目的の一つとしており、高松市立牟礼小学校・牟礼北小学校・牟礼南小学校の児童446人の皆さんの御協力を得て、「こんな道具があつたらいいな」と思う道具

ファミリ-マ-トで販売  
学生による  
弁当開発  
メディアデザイン学科

メディアデザイン学科の学生とファミリ-マ-トにより共同で開発されたコンビニ弁当が、3月4日(火)より四国内のファミリ-マ-トで販売された。

販売された弁当は、「乙女のかぼちゃごはん」「乙女のはちみつそばごはん」「ラーハン」「豚キムチマヨMEN」の全4種類で、開発テーマである「学生にやさしいアイデア」

今回の弁当開発は、学生にとつて未知の分野への挑戦であったが、商品の企画・開発から商品化にこぎ着けるまでの厳しさを実際に味わうことができた。非常に貴重な体験であった。また、徳島文理大学の名前が入った弁当がファミリ-マ-トの店頭で並ぶことによつて母校を発信できること



回収式  
エコバッグ  
運用  
メディアデザイン学科

レジ袋に変わる「回収式エコバッグ」の試験運用が、12月3日(月)より2週間、学内ファミリ-マ-トにおいて実施された。メディアデザイン学科古本研究室の学生が卒業研究の一環として行ったもので、「ファミリ-マ-トが学内に設置されているため、エコバッグの回収が可能ではないか」という、設置条件の利点に着目した画期的な試みであった。

また、1月15日(火)には、四国民家博物館(香川県高松市)所蔵の「讃岐および周辺地域の砂糖製造用具」9点、瀬戸内海歴史民俗資料館(香川県高松市)所蔵の「瀬戸内海および周辺地域の漁撈用具」4点(双方とも国の重要有形民俗文化財)を含む35点の貴重なもので、両館の職員の方には多大なるご指導・御配慮を賜った。

この取り組みは今回で3回目となるが、展示会の開催をめぐり「主体性・協調性・責任感」が育まれ、学生たちの大きく成長するその姿が最も印象に残る。まさに、「自立協同」という本学の建学精神がこの取り組みを通じて確実に培われているものといえる。なお、次の4回目の展示会開催準備もすでに進められている。

開発メンバーは、人間生活学部メディアデザイン学科の学生14人(3、4年生)で構成され、昨年9月より開発プロジェクトを開始した。3か月にわたつて、マーケティング、調査・ニーズ分析、試作、ファミリ-マ-トへのプレゼンテーションを繰り返した結果、提案した作品の中から、4つの作品が採用され四国4県で販売されることとなった。

今回の弁当開発は、学生にとつて未知の分野への挑戦であったが、商品の企画・開発から商品化にこぎ着けるまでの厳しさを実際に味わうことができた。非常に貴重な体験であった。また、徳島文理大学の名前が入った弁当がファミリ-マ-トの店頭で並ぶことによつて母校を発信できること

**出張講義**  
**幼稚園から**  
**高等学校まで**  
**幅広いニーズ対応**

出張講義は、本学の社会貢献の一つとして実施している。高校生を主な対象として、中・小・幼稚園や中学校、職場やPTAの研修会といった幅広い要請にも応えている。さらに、講義の形式も多岐に分かれ、一般的な講義スタイルから音楽のコンピュータミュージックを聴く等の体験型まで幅広く行われている。

「一日総合大学」、「職業理解のためのガイダンス兼模擬授業」等の高校側の企画に本学の先生方が招へいされてアカデミックな講義を高校生に体感してもらうことのであった。

手続としては、本学発行の「出張講義実施プログラム」もしくは、ホームページを検索し、本学の各先生方の講義と講義内容から、高校生が受ける講義(分野)を選択し、所定の申し込みをしていただく。本学負担となっている。

「高校にいながら大学での授業形態や内容の一部を体感することができ、進路を考える上で貴重な体験となった。」や「就職を希望していました、まだ時間があるので進学も含めゆつくりと考えていこうと思います。」これまで出張講義を受けた高校生の感想である。当然こうした出張講義には高校生の保護者も参加しており、就職の現状や大学で学ぶ内容などを熱心に聞いてくださっている。

平成19年度の実施状況であるが、徳島県47件、香川県10件、高知県3件、愛媛県6件、他10件(兵庫、大阪、奈良、三重、島根、計76件。(平成20年1月現在)

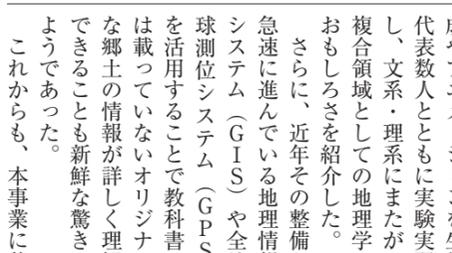
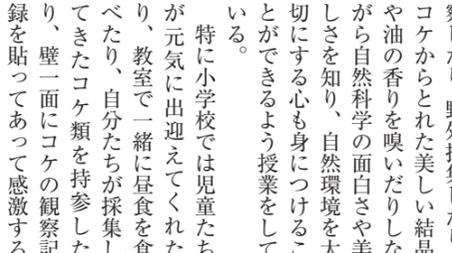


**ナメクジの脳波を測定!**  
**高松高校生による体験実習**

香川薬学部

2月10日(日)に、香川県立高松高等学校の1・2年生34人が香川キャンパス香川薬学部に来学され、「ナメクジの神経と行動の関係を調べる」という実験を体験した。この企画は、高松高校の(独)科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトの一環として実施した。

前日の9日(土)には、本学の伊藤悦郎教授が高松高校に出張し、「動物の脳と行動に関する最近の研究」というテーマで講義を行い、脳神経について一通りのことを説明した。そして翌10日(日)には、高校生に本学へお出でいただき、香川薬学部機能生物講座の教員による軟体動物のナメクジを用いて、脳の解剖と観察、脳波の測定、そしてナメクジに学習を施してどれだけ記憶しているかなどの



行動実験を行った。高校生にとっては、普段の授業や実験では扱えないような最新の実験機器や細かい道具を用いたことで、多少の戸惑いもあったようではあるが、さすがに若い頭脳はそれらを素早く使いこなすようになり、順調に体験実習は進んだ。しかも、ネズミなどの哺乳類を用いないため、解剖にも抵抗感が少なく、馴染みやすかったようである。現在の小・中・高校生は、授業時間数に関係や多くの制限により、解剖などの実験を経験

することが難しいようである。今回、解剖によって実際に脳を観察できたことによる感動が、とても大きかったようである。

サイエンス・パートナーシップ・プロジェクトとしての最も重要な点である。「科学への理解増進」も、十分に進んだと思われる。特に、自身の進学の方向を考えるに際して、大きなきっかけになった生徒もいたようであった。我々大学の教員も、高校生にサイエンスの楽しさを少しでも伝えたいと感ぜており、とても有意義な時間を過ごせた。

受講生たちは、生物学の楽しさや、さらには生命に対する尊敬についても学んでくれた様子で満足気に香川薬学部をあとにされた。

**文部科学省委嘱事業**

**「その道の達人」**

**として**  
**教員を派遣**

さまざまな分野で卓越し、学識・技術を持つ達人が全国の小・中・高等学校を訪問し、授業や講演会、実験を通して児童、生徒に

さらには、子どもたちの旺盛な知的好奇心・探究心・学習意欲の向上を呼び起こし、各学校より大変好評をいただいている。

勉強することしばしばである。授業に参加する児童生徒は20数人から600人規模とさまざまであるが、子どもたちの真剣な眼差しや、鋭い質問とイラスト入りの感動や感激の言葉が詰まったレポートは、達人たちに新たなエネルギーを与えている。子どもたちだけでなく先生方や保護者の方々、報道人もこの事業に参加され、コケに限らず思わぬ研究のヒントをいただいたり、その地方の異なった文化や風習も学ぶことができ、この場を借りて本事業の推進に熱心に当たっておられる日本理科教育振興協会の「その道の達人派遣事業プロジェクト」の皆さんに感謝します。

**「コケの達人」**  
**薬学部 浅川教授**

薬学部浅川義範教授は、「コケの達人」としてこれまで11府県の小・中・高等学校に派遣され、「コケと人間との関わり」をテーマにコケ植物の起源や進化の話、香り・味・抗菌・抗微生物・皮膚炎誘発化学物質などがコケから取れること、コケシートやコケ枕など実際にコケが地球温暖化防止や人の健康に役立つ材料として使用されていることなどをビデオで示し、またコケに触れたり、顕微鏡で観察したり、野外採集したり、コケからとれた美しい結晶や油の香りを嗅いだりしながら自然科学の面白さや美しさを知り、自然環境を大切にしようとする心も身につけることができよう授業をしている。

特に小学校では児童たちが元気に出迎えてくれたり、教室で一緒に昼食を食べたり、自分たちが採集してきたコケ類を持参したり、壁一面にコケの観察記録を貼ってあって感激する

**「平野の歴史の達人」**  
**文学部 古田教授**

文学部文化財学科古田昇教授は、「平野の歴史の達人」として、昨年引き続き東北地方へ派遣された。訪問先の奥州市衣川中学校では、全校講演会として企画されており、隣接する小学校の6年生とあわせ、およそ200人の生徒児童を前に講演を行った。

自然環境の生い立ちと人間活動の関わりについて、通学区周辺の身近な地域を例に取り上げ、郷土の自然環境の成り立ちを地形や気候、植生の特徴を織り込みながら、プロジェクト画像により説明していった。休憩時間には3D画像の作成やアニメーションを生徒代表数人とともに実験実習し、文系・理系にまたがる複合領域としての地理学の魅力も紹介した。

さらに、近年その整備が急速に進んでいる地理情報システム(GIS)や全地球測位システム(GPS)を活用することで教科書には載っていないオリジナルな郷土の情報詳しく理解できることも新鮮な驚きの上であった。

これからは、本事業に積

**第4回 学生プレゼンテーションコンテスト開催**



極的に協力したいと考えており、異常気象や環境問題への関心が高まる中、郷土環境共生教育の一助となれば素晴らしい自然環境をよ

く理解し、持続可能な環境として伝えていくための環境共生教育の一助となれば素晴らしい自然環境をよ

**プレゼンテーションコンテストで最優秀賞を受賞して**  
工学部臨床工学科1年 山出亜矢子 竹内理沙



最優秀賞を受賞した「チームME」竹内理沙さん(右)と山出亜矢子さん(左)

平成19年12月20日(木)、香川キャンパス図書館AVホールにて第4回学生プレゼンテーションコンテストを開催し、長時間にわたって学生たちの熱心な発表が行われた。参加チームは徳島・香川キャンパスそれぞれ8組ずつ35人で、約60人の聴衆の前で披露した。

このコンテストの趣旨を理解し、自分の考えをまとめて、人前で熱意のこもった発表をする学生たちは皆素晴らしい拍手で賞賛していた。今回は1年生の参加も多く、将来が頼もしい学生に接して指導された先生方にも深く感謝したい。

発表は、いずれも優秀で甲乙がつけがたく、内容が素晴らしい作品が多く審査が長引いた。審査結果は以下のとおり。

- ①作品タイトル
- ②団体名
- ③メンバー(学年は受賞当時のもの)

最優秀賞は「わたしたちのキャンパス」  
①わたしたちのキャンパスライフ  
②チームME  
③山出亜矢子、竹内理沙(工学部臨床工学科1年)

優秀賞  
①国際交流経験と研修案内  
②NOTION  
③李鉉恵(文学部留学生)

審査員特別賞  
①私の学園生活での挫折と希望  
③野田 卓伯(短期大学部言語コミュニケーション学科1年)

①心に響く展示  
②チーム國武  
③武井 康晃、國澤 学(文学部文化財学科3年)

①コンビニ弁当開発奮闘記  
②furnoto lab.  
③小島 裕輔、藤島 真、曾根 春樹(人間生活学部生活情報学科3年)

当日の気がかりだったこととは、両手が差し棒とマイクでふさがり10分間の内容を暗記する羽目になったこと、スライドと話のタイミングでした。寸前まで緊張してすべてを忘れてしまうのではないかと心配でしたが、話し始めた瞬間緊張も消え二人は双子のように息もぴったりでした。

「最優秀賞はチームME」と呼ばれるやいなや相棒の悲鳴でビクビクしたのを覚えていますが、表彰時によく実感が湧いてきました。この作品が認められた嬉しさと同時に、二人で悩みながら頑張ったからこそ、この結果が残せたのだとひたすら満足感に浸りました。

コンテストに参加して思ったことは「伝えることの難しさ」と「伝わった時の素晴らしさ」、それに「協力していくことの大切さ」を学びました。

これもまた、ご指導いただきました田仲先生を始め、多くの先生方に励まされ受賞できたものと感謝しています。



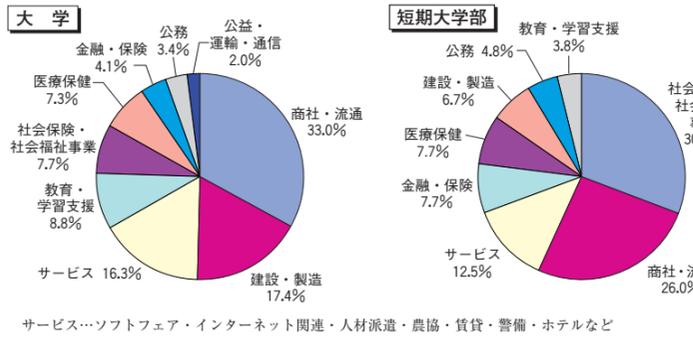
# 積極的な活動で 内定を獲得しよう

平成19年度 就職支援と就職状況

キャリア・サポートグループ

## 平成19年度卒業生 業種別就職状況

平成20年3月1日現在



サービス…ソフトウェア・インターネット関連・人材派遣・農協・貸付・警備・ホテルなど

平成19年度の業種別就職状況は、3月1日(土)現在で左の円グラフに示すとおりである。

就職環境についてはここ数年来言われてきた、団塊世代の大量退職等による改善、企業規模や地域等による違い、就職活動の早期化や通年化、雇用形態の多様化等々が依然として続いている。

こうした状況を学生側も十分に認識し、早くから自らの就職に対する意識をしっかりと持ち、計画性を持って毎日の学生生活を充実させることが大切である。また、早めに関心を持って進め、自らの希望に照らし、時期を失うことなく積極的に活動・行動して欲しい。本学では、本年度に学内

の組織改革を行い、「就職部」を「キャリア・サポートグループ」とし、インターンシップをはじめ入学時からキャリア支援にも力を入れるとともに、就職支援を一層推進することとした。同時に、徳島・香川両キャンパスとも新しいフロアに支援の場を開設した。フロアは就職資料を開く学生やパソコン端末で情報検索をする学生、さらにはグループ形式の相談カウンターで熱心に就職相談に臨む学生などで活気に満ちている。在学生の皆さんの積極的な利用や相談での来室を待っている。

最後に例年実施している事業をはじめ、新たに開始した支援の概要を紹介する。

### 1、キャリア支援

1年生全員を対象としたキャリアガイダンス、2年生のキャリアアップをめざした講演、1・2年合同での「自己分析」ガイダンスを実施した。また、外部機関と連携を図り、県内外の県庁や市役所、各企業等でのインターンシップを推進した。

### 2、就職支援

大学3年生と短大1年生対象の就職ガイダンスを6月に実施したのをはじめ、就職説明会を各学部学科専攻毎に少人数で実施した。本学独自作成の「就職の手引き」冊子を中心に、具体的な就職活動の進め方や各種書類作成方法等々細かく支援している。また、徳島県内の代表的な企業の人材担当者を招いての「就職活動支援懇談会in徳島文理大学」や、就活サイト登録・面接・集団討論・新聞

の読み方等の各セミナーを実施した。

さらに8日間計21コマでの「就職試験対策集中講座」を年2回実施し実力養成を図った。

その他、○福祉ガイダンス ○OB・OG就職懇談会 ○就職適性診断テストや就職能力模範試験、就職常識模範試験 ○各種公務員説明会や模擬試験 ○内定獲得学生による就職体験発表会 ○全国15都市で開催の保護者会での保護者との就職面談 ○徳島県内をはじめ中・四国、近畿等での企業訪問を実施し、求人開拓や卒業生支援等を行うなど全学あげて学生の夢の実現に向けて強力にサポートしている。

名勝負山の桜も、明るい陽光に次第に蕾を膨らませ開花を心待ちにしていた頃、一本の電話があった。難関の教員採用試験に合格して本人は元より、親としてもこんなにうれしいことはない。徳島文理大学で学ばせて本当に良かったという感謝の電話である。親としての喜びと感謝の気持ちが直接伝わってくるような、上品で丁寧な挨拶であった。



平成20年度は徳島文理大学から、徳島県内を含めて全国の公立学校・幼稚園に63人が教諭として憧れの教壇でデビューをする。さらに8人が保育士として公立保育園等で正職員に採用され、子どもたちの幸せ実現に大きくかかわっていく。また全国各地の私立学校園に正式任用された者や臨時教員として勤務する者など、優に1200人程の文理

## 教育現場に若さ輝くさわやかな風を

教員養成対策室

大生が教員として活躍とスタートをする。大学のアカンサスの旗の下で学んだ学問と指導技術を基に、それぞれの胸に抱いた理想の先生像にだけだけ迫れるか、その健闘と大成を祈って止まない。

いわゆる団塊の世代が教育現場から退職していく時期を迎え、若い先生をどう

どの採用しようとする傾向が顕著になっていく現在、旺盛な教育意欲と的確な指導技術をもった有為の人材を求める声は切実である。教員養成対策室は「教員志望の文理大生を強力にサポートして、教員への夢を実現させる」ことを目標に、本学の優秀な教授陣が担当する教員養成対策講座やア

カンサス教師塾、春・夏の教員採用試験対策講座などの講座や公開模試、模擬面接や模擬授業、教員採用説明会さらには個人の悩みや相談に応じるなどの多様な活動を展開している。

年末に開催した教員採用試験合格体験発表会で貴重な体験談を披露してくれた先輩たちは異口同音に、これらの多様な活動への積極的な参加することの効果の大きさを感謝を込めて力説していた。それこそ教員養成対策室の存在意義そのものなのだ。

またもう一つ大事なことは、自分の意見をしっかりと伝えることです。面接で緊張して上手く受け答えすることができなくて悔しい思いをする人もあると思います。でも、どんなに緊張してしまっても黙り込んでしまわずにゆっくり落ち着いて自分の意見を述べようとする熱意は必ず面接官に伝わります。なので、最後まで諦めずに自分の意見を述べようという心掛けて面接に臨んでください。

そして色々な人との出会いや経験ができることもよい機会である就職活動を楽しくみながら、自分に納得のいく活動ができるように頑張ってください。

現在私は、小学校で学校栄養士として勤務しています。大学生の時、学外実習で、給食センターにおいて実習させていただき、学校栄養士という職業に興味を持ちました。実習期間はずっと短く、あっという間に過ぎてしまいましたが、栄養士の先生の話を聞いて、栄養士としての使命感が生まれました。また、学校訪問をさせていただいた時、私の話を一生懸命に聞いてくれた子どもたちの姿がとても印象深かったです。この職業を選んだ大きなきっかけとなりました。

スタートは、山深い木頭村の学校給食共同調理場でした。中学校に所属し、小学校と中学校の給食献立作成の上に、中学生のための寮の朝・夕の献立や保育所給食の献立作成にも携わっていました。幸運にも大学卒業してすぐに就職できたのですが、逆にそれまで職業経験がないために、右も左も分からない状態が始まったわけですね。栄養士は、私一人しかいないという不安もありとまどうことばかりでしたが、周りの人たちが支えられて、何とか3年間を過ごすことができました。その後何回か異動があり、今の学校で4校目になります。

さて、最近の職場事情ですが、「食育」という言葉をよく耳にするようになってきました。子どもたちを取り巻く環境の変化により、「栄養バランスの偏った食事の増加」「肥満や生活習慣病の増加」「食の安全性の問題の発生」等色々な問題があって、平成17年7月15日(金)に食育基本法が施行され、国を挙げて食育が推進されています。徳島県では、平成20年度までに全ての市町村に栄養教諭が配置されることとなりました。各学校においても、全教職

## 先輩からの手紙

の中で具体的な将来像、未だの自分にならぬこと、やりたいことが増え、ワクワクしました。実際に活動したのは、ほんの数カ月ですが、日々出会う未知の物事を次々に吸収するたのが行動力と忍耐力を得ることができました。また、落ち込んだ時支えてくれた家族や周囲の友人への感謝の気持ちは忘れません。

在学生のみならず、先輩を述べるように心がけて面接に臨んでください。

そして色々な人との出会いや経験ができることもよい機会である就職活動を楽しくみながら、自分に納得のいく活動ができるように頑張ってください。

私が将来について考え始めたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

私が就職活動を終えて言えたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

私が就職活動を終えて言えたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

## 将来像を描く

薬学部 医療薬学科  
田辺 有宇子  
アステラス製薬株式会社 MR

私が将来について考え始めたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

私が将来について考え始めたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

私が将来について考え始めたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

私が将来について考え始めたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

## 熱意を大切に

工学部 ナノ物質工学科  
江田 亜沙美  
川澄化学工業株式会社

私が就職活動を終えて言えたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

私が就職活動を終えて言えたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

私が就職活動を終えて言えたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

私が就職活動を終えて言えたのは学生生活の折り返しの頃でした。それまでは、友人と「何歳まで〜したらいやね」等、冗談半分で話している姿を見て、「将来像」という、ほんやり遠くにあつたものを考えるようになりました。友人の「MRに向いているんじゃないか?」の一言をきっかけに就職活動を始めました。いざ企業訪問を開始し、MR職を知っていくと、頭

## 動かないと始まらない

人間生活学部 児童学科  
株式会社リクルート  
小山 陽司

最初は「なんともかなや」とばかり思っていました。就職をめぐると、企業を受けるか決めきれず、就職の方はリクナビに登録しているだけでいい。実習のことを考えていて気がつけば春の大手の企業の採用は終

最初は「なんともかなや」とばかり思っていました。就職をめぐると、企業を受けるか決めきれず、就職の方はリクナビに登録しているだけでいい。実習のことを考えていて気がつけば春の大手の企業の採用は終

最初は「なんともかなや」とばかり思っていました。就職をめぐると、企業を受けるか決めきれず、就職の方はリクナビに登録しているだけでいい。実習のことを考えていて気がつけば春の大手の企業の採用は終

最初は「なんともかなや」とばかり思っていました。就職をめぐると、企業を受けるか決めきれず、就職の方はリクナビに登録しているだけでいい。実習のことを考えていて気がつけば春の大手の企業の採用は終

## 積極性

短期大学部 言語コミュニケーション学科  
徳島信用金庫  
西本 香菜

就職活動で大事なことは「積極性」です。就職試験対策や合同会社説明会には面倒がらずに参加してください。就職活動がどんなものかは、実際に体験してみれば分かります。また、面接では自分が一番強い印象を残せるよう努

就職活動で大事なことは「積極性」です。就職試験対策や合同会社説明会には面倒がらずに参加してください。就職活動がどんなものかは、実際に体験してみれば分かります。また、面接では自分が一番強い印象を残せるよう努

就職活動で大事なことは「積極性」です。就職試験対策や合同会社説明会には面倒がらずに参加してください。就職活動がどんなものかは、実際に体験してみれば分かります。また、面接では自分が一番強い印象を残せるよう努

就職活動で大事なことは「積極性」です。就職試験対策や合同会社説明会には面倒がらずに参加してください。就職活動がどんなものかは、実際に体験してみれば分かります。また、面接では自分が一番強い印象を残せるよう努



### 薬学部

放射薬品学講座 教授 富田 基郎

放射薬品学は学部、医薬品情報科学は大学院の名前です。二つは研究的に無関係ですが、本研究室の立場をよく表しています。薬学部ができた当時は、放射性物質（R1）が重要医薬品になると期待されていましたが、現在は極短寿命診断用医薬品（PETなど）が主流となり、大学研究には不向きなためR1関連業務は研究用R1実験施設の管理が主体になりました。

さて、薬学は6年制になり薬剤師職能教育へと大きく移行するとともに、非実験系（ソフト型）の研究の重要性が叫ばれています。医薬品情報科学では本学での非実験系研究の確立をめざしています。具体的な研究テーマはまだ産声を上げた段階ですが、処方箋解析から医療の改善点を見出す研究に着手しています。薬局薬剤師にとって患者さんとの最初の接点は処方箋ですが、1枚の処方箋からすばやく患者さんの容態を推定し服薬指導に結びつけるには、深い知識・技能・態度が要求されているのです。その能力を養うためには処方箋の解析研究を実際に行ってみることで、一度気軽に訪問してみませんか。

研究室は富田基郎教授、塩原義則准教授、西木まゆみ助手の3人で構成され、3月現在、4年生11人、3年生16人が配属され、研究室の生活を満喫しています。

### 人間生活学部

心理学科 教授 小坂 茂

臨床心理学が専門の当研究室では、心理臨床や教育、産業社会や一般的な生活の中で、人の心の癒しに役立つ研究や、実践的な人材を育成したいと思っています。興味関心を持って進めていることは、芸術による臨床です。芸術に興味があればどの領域でも制約はありませんが、特に、描画や粘土などの美術を通して、そ

れらが人の心にどのように関係しているのかを研究しています。また、絵を描いて人の状態や性格の特徴を探求することも関心のある研究の一つです。ゼミに入ると、描画テスト（バウムテストやHTP、枠付け5丸法など）の臨床的方法や解釈が学べます。今までのゼミ生の研究には、バウムテストを中心に描画テストに関するもの、クレイアート、ダンスセラピー、筆跡と性格、アロマセラピーなどがありました。

### 保健福祉学部

人間福祉学科 准教授 木内 哲一

私の研究室では、主に3つのテーマを扱っています。

- ①生活環境と福祉ニーズ
- ②社会福祉施設運営
- ③介護保険と生活環境研究

人は生まれた時から、その都度、生活上の問題に遭遇する可能（危険）性を持っています。病気・事故・失業、そして老齢……。これらの生活上の課題（問題）が起きたら、「あきらめて不自由な生活を辛抱する」という考え方もあるでしょう。しかし、福祉や社会保障の目的は違います。それは、「歳を取って身体が不自由になっても、できるだけ今までと同じように暮らしたい」という人の願いを実現する、それが目的なのです。

私の研究は、一言で表現すると、「福祉ニーズ（必要性）」は、その生活環境に影響される」という、ごく当然の定説を客観的に実証することにあります。先に述べた、「同じように暮らす」ためには、生活環境（住居・家族等や隣人・そして地域社会等）の支援が不可欠なのです。「在宅」や「施設」等、福祉の利用者にとって、どういった環境も、その人の生活に非常に大きな影響をあたえます。ならば、良い影響をあたえるために何が必要か、どういう生活環境が求められるか……。この民主社会成熟の産物である命題を、実習や国家試験対策と並行して、学生と議論しています。

### 総合政策学部

総合政策学科 准教授 南波 浩史

日本の中央銀行である日本銀行は、「物価の安定」という目標の達成のため、さまざまな政策手段を用いて金融政策を行っています。

1999年から2006年までの日本は、ごく僅かな時期を除いて「ゼロ金利政策」という非常に特殊な金融政策運営を行ってきました。なぜ日本はそのような長い期間にわたって特殊な政策運営を行ってきたのでしょうか。また、そうしたゼロ金利政策

は効果があったと評価できるのでしようか。ゼロ金利政策とは、日本銀行がコールレートと呼ばれる政策金利をゼロ%の水準に誘導する政策のことですが、そのような政策がデフレーションからの脱却や経済成長・景気回復といった実体経済に対して、どのような波及経路を通じて効果をもたらしているのか、あるいは、もたらしていないのかという問題を説明する必要があります。

### 音楽学部

オペラ研究 教授 熊谷 公博

オペラ研究は、音楽学部3・4年生の音楽コースを対象としていますが、興味や意欲のある学生には、学部・学年・コースを問わず門戸を開いています。授業では、主にモーツァルトのオペラや、ロッシニ・ドニゼッティ・ベッリーニ・ヴェルディ・プッチーニ・チレリア等のイタリアオペラの中から、登場人物の見せ場・聞かせどころのソロ（アリア）や、複数の人物による二重唱から六重唱・八重唱（時にはW・フェッラーリのオペラ「四人の頑固者」にあるような十重唱も！）を取り上げています。

音楽的なレッスンに引き続き、せりふ（レチタティーヴォ）の言い回し・発語法を学び、アルテシエニカ（舞台演技）の勉強へと進み、最終的には衣裳・装置付きの小演奏会をめざします。

ボストンホール等でのコンサートで繰り広げられる学生たちの熱演には、毎回惜しみない拍手が送られています。

また、オペラ以外にも多くのミュージカル分野も取り上げ、活潑な演奏活動を展開しています。



### 香川薬学部

生体防御学講座 教授 岩田 誠

生体防御学講座は平成17年5月に誕生しました。私たちは、免疫系の働きを制御するビタミンやホルモンなどの作用に興味を持っています。

世界では飢餓のために5秒に1人の割合で子どもが死亡しています。その主な原因は持続性の下痢ですが、ビタミンA補給は下痢症状を抑え、死亡率を

低下させます。しかし、そのメカニズムは長い間、不明でした。私たちは、腸で病原体と戦うリンパ球を腸組織に配備するために、ビタミンAが必須であることを発見しました。腸にはビタミンAを活性化型に変換する酵素を持つ細胞が存在し、リンパ球にこの活性化型ビタミンAを与えることによって、腸の組織に移動するよう指令していることを発見したので、腸では、食物にアレルギー反応などが起こらないようにすることも必要で、それにも活性化型ビタミンAが関与している可能性が最近、指摘されています。私たちは現在、活性化型ビタミンAを作る能力を持つ細胞が腸に現れるメカニズムや、ビタミンDなど他の因子の免疫系での役割も調べています。



研究室風景：大岡准教授と卒業研究生

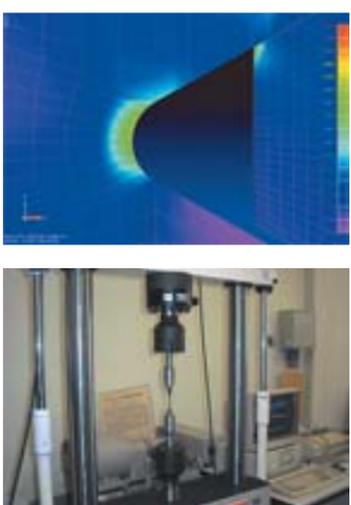
### 工学部

機械電子工学科 教授 祝 賢治

昨年、大阪で起こったジェットコースターの事故を覚えていませんか？ 事故は、車軸表面にできた小さなひびから始まって、次第にひろがり、やがて車軸の破断にまで至った金属疲労と、報道されました。機械創造工学科の祝研究室では、この金属疲労をテーマとした研究を行っています。

金属疲労の研究は社会で使われている機械や構造物に広く活かされています。たとえば、原子力発電所の設備や瀬戸大橋などの巨大プロジェクトから、クレインや身の周りのねじに至るまで、金属疲労の知識を使って設計されています。

私の研究室では、コンピュータを使って、ひびが生じると予想される場所の力を求めています。そのような力は、たとえば色彩を使って目で見えるように表されます。また、試験機を使って材料に繰り返し力を与えて強さを調べています。



### 文学部

英米言語文化学科 教授 井上 勉

ところで、現在の日本の強さはものづくりにあるといわれています。そして、将来にわたってものづくりを支えるためには、柔軟な若い力が必要です。自由な発想で機械を創造する楽しさを一緒に味わいませんか。

ヘミシンクという音響装置の効果によって自分が通常とは全く別のいろいろな世界に行ってきたことを報告している本もありますが、そういう場合の自分とは誰でしょうか。自分の体はその装置のところに横たわっている一方、別の世界を見聞している自分、あるいは自分という意識は、確かに現実のものだと感じられるようです。だから人間というものには肉体だけのものではないということになりそうです。そして世界というものも肉眼に見える世界だけではないようです。存在しているさまざまな世界は玉ねぎのように重なっていて、その一枚一枚の皮が一つの世界で、それぞれの世界に人間を含めていろいろな生物がいるそうです。人間の意識はそうした別の世界に入っていくことができるようです。私はこういうことを研究しています。

シャーマンもそういう別世界に入っていくところにいる精霊と交渉するのですが、「英米言語文化特講」のクラスではそうした事柄を取り上げます。また作家のカフカも別世界に入っていたようで、「ヨーロッパの文学」ではカフカの場合について論じています。これから地球が大きく変わって誰でも精霊などが見えるようになるかと言われていますが、楽しみです。

### 短期大学部

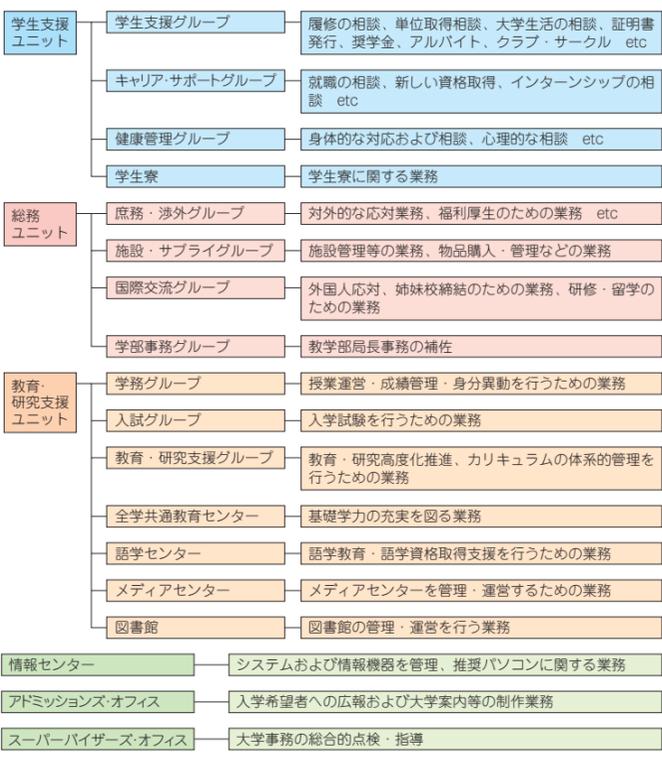
言語コミュニケーション学科 教授 堀口 誠信

短期大学部言語コミュニケーション学科ではプレゼンテーション実務士の資格が取得できます。英語を勉強して情報を得るにせよ、古典の鑑賞をするにせよ、その内容をプレゼンテーションで効果的に伝える技術がなければ相手に情報や感動の伝達ができません。

プレゼンテーション演習Iでは、文章作成から声の出し方、カメラを前にしての発表、パワーポイントなどの情報機器の操作といった実践的な演習を取り入れています。プレゼンと聞くと一般的にはグラフや写真など視覚的な資料作成や機械操作だけに注意が向けられがちですが、実際に聴き手が「わかりやすい」と感じる良いプレゼンは、その前の段階としての情報にスポットを当ててどこを削除するかといった「構成」の部分が一番重要になってきます。

さらに「言葉の使い方」「聴衆に好感を持たれる態度」「効果的な環境設定」「見やすい資料」など4つの要素に磨きをかけることで情報化の進む実社会で通用する技能になります。この点でプレゼンの練習は単に学究的分野にとどまらず、就職その他あらゆる分野での応用がききます。この科目は学科のほぼ全員が履修していることもあり、集団でのUSJ旅行などお楽しみもあります。

【徳島文理大学 徳島キャンパス 組織機構図】



徳島文理大学では、学生生活を円滑に送っていただくために学生支援ユニット

と称し組織的にさまざまな支援を行っている。学生支援ユニットは4つのグループ

（学生支援グループ、キャリア・サポートグループ、健康管理グループ、学

新入生のための学生生活支援について

新入生の皆さんははじめまして。私は香川キャンパスの大学祭（杏樹祭）実行委員会の委員長をしている岡



入学生への呼びかけ

文学部文化財学科3年 岡村 周作

村周作です。この度は、皆さんに大学生活がどのようなものかを紹介したいと思っています。

夜になると私はバイトに行きます。バイトもいろいろな人と知り合うことができ、社会勉強のできるとてもいい場所です。

その反面、得られるものはたくさんあります。例えば、いろいろな企業に出向いて折衝にまわるため社会人になってからも役に立つ知識や能力が身につきます。

新入生の皆さんにも、早い段階で自分にあつた生活スタイルを見つけ、これからの大学生活を思いっきり楽しんでください。

クラブ・サークル紹介

◆クラブ委員会 (徳島キャンパス)

徳島キャンパスには、体育部20・文化部16・同好会サークル16・団体2と、多くの部活動やサークルがあり、体育館や施設などで活動しています。

◆女子バスケットボール部 (徳島キャンパス)

私たち女子バスケットボール部は、毎週火・水・木・土曜日の4日間、宮地康夫監督のご指導のもと、大学の体育館で練習を行っています。

◆少林寺拳法部 (香川キャンパス)

幅広い年齢で、楽しく学べる護身術の一つ。それが、少林寺拳法。



◆軽音フリーミュージック部 (香川キャンパス)

軽音フリーミュージック部は、年間4回ライブをおこなっており、新入生歓迎ライブ（7月）、杏樹祭ライブ（10月）、クリスマスライブ（12月）、4年生追出しライブ（12月）があります。

県人会活動

「鳥取県人会なんてあったんだ!？」とは言わせない! 「鳥取か取島かどっちかわからない」とも言わせない!

鳥取県人会はメンバーを募集しています。鬼太郎チームに乗っかるう! とうとううー!!

◆◆オープンキャンパス◆◆



平成20年度オープンキャンパスの日程が決定した。

- ◆徳島キャンパス
  - 第1回 6月21日(土)
  - 第2回 8月5日(火)
  - 第3回 8月23日(土)
  - 第4回 10月4日(土)
- ◆香川キャンパス
  - 第1回 7月5日(土)
  - 第2回 8月6日(水)
  - 第3回 8月22日(金)
  - 第4回 9月13日(土)

〈問い合わせ先〉

アドミッションズ・オフィス 0120-602455 無料バス乗車申し込み (HP) http://www.bunri-u.ac.jp



オープンキャンパス実行委員会ブログ http://wmt.bunri-u.ac.jp/open-c/blog/